

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki



真剣な作業（ボランティアグループ「木楽工房」／関連記事 P8）

Contents

2 ～ 3

特集

第4次茨城県地域福祉活動推進プランを策定しました！

4

第63回茨城県社会福祉大会
茨城県知事へ社会福祉に関する要望書を提出
「子どもを守ろう！オレンジリボンたすきリレー2013」
が実施されました

5

新施設の紹介
平成25年度介護支援専門員実務研修受講試験の結果
「もったいない」を「ありがとう」に…
～NPO法人フードバンク茨城の取り組み～

6

information

7

社協職員リレートーク

8

●はんどちゃんネットワーク運動 地域福祉活動レポート
木工・補修・補強ボランティアグループ「木楽工房」

はんどちゃんの紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活用されています。

みんなの手で地域をつくらう



はんどちゃん

ふれあいネットワーク



第4次茨城県地域福祉活動推進プランを策定しました！

**私たち茨城県社協の願いは300万県民の「幸せ」です
多くの彩りを輝かせるために県民の皆様とともに歩み続けます**



平成24年9月から1年間かけて策定作業を進めてきた「第4次茨城県地域福祉活動推進プラン」が完成しました。

私たち茨城県社会福祉協議会は、300万県民の幸せづくりに努めるとともに、この茨城の地に滞在する人々（東日本大震災により避難を余儀なくされている方々など）の幸せづくりのため、本プランに基づき各種事業を展開してまいります。

本プランは県社協ホームページでご覧いただけます。

<http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>

基本理念

だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現

社会福祉法の理念でもある、誰もが人として尊厳を持って、住み慣れた家庭や地域の中で、その人らしく自立し、社会参加を行いながら、安心して暮らせる福祉社会の実現をめざしています。

基本理念を実現するために、今後取り組むべき5つの項目を重点目標（「使命」）としています。また、重点目標を実施するために8つの推進目標（「約束」）と23の推進事項（「挑戦」）によって構成しています。なお、具体的な実施項目は本計画に付属する実施計画（別冊）に網羅しています。

使命

（住民参加と福祉コミュニティづくりの推進）

支え合う福祉

約束 1

福祉の大切さを伝える

人は、一人では生きにくく、人とのつながりや誰かの支えを必要としています。私たちは、平成23年3月11日に起きた未曾有の大災害で、住民同士のつながりや支え合いの大切さを改めて知らされました。無意識のうちに人と人が支え合い、「しあわせ」を感じられる社会…それを多くの人が望んでいます。県社協は「はんどちゃんネットワーク運動」などを通じて、そのような支え合いの仕組みを社会に広めています。県社協は、受け手がわかりやすい情報の提供や学校、家庭及び地域が一体となって思いやりの心を育てる取り組みなどを通じてこれまで以上に福祉の大切さを伝えていきます。

挑戦 1

挑戦 2

挑戦 3

約束 2

福祉の大切さに気づいた人を支える・つなげる

日々の暮らしであまり意識することはありませんが、私たち一人ひとりみんな地域の一員です。自分自身が幸せになることが地域の幸せになり、ひいては県全体の幸せにつながります。県社協は、そのことに気づいた人の思いを実現する後押しをしていきます。また、県民一人ひとりがいつまでも生きがいを持ち、健康に暮らし続けられるよう、高齢者のスポーツや文化活動などを支援します。

挑戦 4

挑戦 5

挑戦 6



第63回茨城県社会福祉大会

茨城県・茨城県社会福祉協議会・茨城県共同募金会の共催により、10月31日（木）茨城県立県民文化センター大ホールにおいて、「第63回茨城県社会福祉大会」を開催いたしました。

当日は、2本のロープを使って跳ぶ縄跳び「ダブルダッチ」の世界大会で優勝したチーム「D I A N A」と「☆皆跳☆」の演技で幕を開け、その後、先天性四肢欠損症で生まれ、現在はメディアや講演などで活躍している佐



佐野さんの講演に多くの人が感動しました

野有美氏により、「あきらめない心」の講演をいただきました。

また、大会の式典では、1,332個人・団体の皆様方が、茨城県知事表彰、茨城県社会福祉協議会会長表彰・感謝、茨城県共同募金会会長表彰を受賞されました。

最後に、茨城県立太田第一高等学校JRC部の生徒により「大会宣言」が提案され、満場一致で採決されました。

受賞者の皆様のご功績とご苦勞をたたえますとともに、ますますのご発展を祈念いたします。



入口でははんどちゃんがお出迎え



式典の様子

茨城県知事へ社会福祉に関する要望書を提出

9月30日（月）、県社協を含む県内福祉団体で構成される茨城県社会福祉予算対策委員会は、県庁で「平成26年度社会福祉に関する要望書提出式」を行いました。



上方委員長が橋本知事に要望書を提出しました

要望書では、「福祉・介護人材確保について」を重点要望に掲げています。現在、福祉・介護人材については、求職者が圧倒的に少ない状況です。深刻化する人材不足解消のため、行政と福祉団体が一体となって取り組みを強化できるようご協力をお願いしました。

今回、県社協は、人材確保関係事業をはじめとする4事業の事業継続や充実について要望しています。

提出後は知事と委員で意見交換を行い、橋本知事からは、関係団体の皆さんと力を合わせて課題の解決に取り組むたい」とのお話がありました。

「子どもを守ろう！オレンジリボンたすきリレー2013」が実施されました

茨城県児童福祉施設協議会では、11月の「児童虐待防止月間」に合わせ、児童虐待防止啓発活動として、11月15日（金）に県内では初の「子どもを守ろう！オレンジリボンたすきリレー2013」を実施しました。

当日は、県北と県南コースに分かれて、県内の児童福祉施設、県・市町村機関からランナー及びスタッフ約150名が参加しました。ゴールの県庁では、橋本知事と茨城県児童福祉施設協議会の上方会長をはじめ、多くの関係者がランナーを迎えました。

上方会長は「当初の予定よりも多くの方にご協力、応援をいただいて実施することができ、大きな充実感があります。今後も続けていきたいです。」と活動の継続についてお話しくださいました。



雨の中たすきをつないだリレー参加者たち

新設福祉施設の紹介

(平成25年8月1日～平成25年10月31日までの開設)

特別養護老人ホーム

施設名	設置主体名	定員	郵便番号	所在地	電話番号
特別養護老人ホーム あいおんの丘大子	社会福祉法人 陽康会	70名	319-3542	久慈郡大子町大字初原字前ノ沢 294番地	0295-78-5023

平成25年度茨城県介護支援専門員
実務研修受講試験の結果

(10月13日〔日〕実施)

今年度の受験者は3,088名で、そのうち合格者は419名、合格率は13.6%という結果になりました。

＜職種別合格者数構成比率＞

職 種	合格者延べ人数(人)	構成比率(%)
介護福祉士	294	64.8
社会福祉士	39	8.6
看護師	25	5.5
相談援助従事者	25	5.5
理学療法士	13	2.9
他	58	12.7

県社協では、合格者を対象に「介護支援専門員実務研修」(7日間、44時間以上)を平成26年1月～3月にかけて実施します。実務研修の全課程を修了することにより介護支援専門員として登録ができ、介護支援専門員証が交付され、実際に実務に従事することができます。

「もったいない」を
「ありがとう」に…

～NPO法人フードバンク茨城の取り組み～

フードバンク活動とは、品質上は問題なく安心して食べられるにもかかわらず、規格外、包装ミスなどの理由で廃棄されてしまう食品(食品ロス)を、メーカーや食品取扱会社、農業関係者から提供を受け、児童福祉施設などの福祉施設、ホームレスなどの支援団体等、必要としているところに無償でおくる取り組みです。もちろん、賞味期限切れなど品質に問題のある食品は提供の対象となりません。

県内では、NPO法人フードバンク茨城を中心にその取り組みが広がってきています。

家庭や企業の余っている賞味期限内の食品を、フードバンク茨城を通じて必要とする方に提供することも可能です。

是非、皆さんもフードバンク活動に参加してみませんか。

【問い合わせ先】

NPO法人フードバンク茨城

〒300-1221 牛久市牛久町1024-1

パルシステム茨城うしくセンター内

TEL/FAX 029-874-3001

E-mail fb.ibaraki@gmail.com

わかち合おう小さな善意

＜平成25年8月～平成25年10月善意金等の預託と払い出し状況＞(敬称略)

交通遺児福祉基金

預託者名	金額(円)
茨城県自動車整備業界親睦ゴルフ大会	110,000
合計	110,000

善意金

預託者名	金額(円)
茨城県女性団体連盟	50,000
丸大食品株式会社	10,211
NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド	500,000
匿名	1,000,000
合計	1,560,211

善意品

預託者名	善意品	払出先名
三和保育園	児童用下着 29組	児童福祉施設、里親
早川ぶどう園 早川 光明	ぶどう狩り招待 46名	社会福祉施設
日産労連 茨城地方協議会	チャリティきやらばん招待 約343名	社会福祉施設
いばらきコープ生活協同組合	紙おむつ 137袋	社会福祉施設
富士ゼロックス茨城株式会社	栄養調整食品 1160個	防災訓練参加者

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名	預託者名
茨城県メディカルセンター	株式会社 三共建設
茨城町ボランティアの会	茨城県教育研修センター
茨城倉庫株式会社	一般財団法人 茨城県社会保険協会
常陽ボランティア倶楽部	茨城県保健福祉部 福祉指導課
株式会社 常南部品商會	きらら館 岡部 雄一
筑波銀行従業員組合	匿名
トヨタ部品茨城共販株式会社	水戸緑岡郵便局
高柳 美幸、高柳 真美、眞子 勉	パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社つくばSC
茨城県水産試験場 管理普及部	内原和敬寮
茨城県保健福祉部 長寿福祉課	阿久津正晴法律事務所
社会福祉協議会(取手市、北茨城市、筑西市、かすみがうら市、城里町、鹿嶋市、つくば市、潮来市、龍ケ崎市、阿見町、鉾田市、古河市、土浦市、神栖市、水戸市、日立市)	

～使用済み切手の集め方～
切手の周囲約1cmをはさみで切り取ってください。
枠が残っていた方が切手の価値が損なわれません。ご協力お願いいたします。



information



公開講座

アンガーマネジメントについて 学びませんか？

「アンガーマネジメント」とは、1970年代にアメリカで始まった心理教育です。

「怒り」という感情のコントロールを通して、自身を省みる手法を学びます。「アンガーマネジメント」を身につけることによって、気持ちが楽になる、人間関係が円滑となる、働きやすくなる、といった効果が期待できます。

相談・支援を行う職員、または、クレームを受ける立場だけでなく、部下を持つ管理職の方にも大変役に立つ講座となっております。

福祉関係にお勤めの方に限らず、一般の方の参加もお待ちしております！

テーマ：「アンガーマネジメント」（仮題）

講師：日本アンガーマネジメント協会

岡田 有加氏

日時：平成26年1月17日（金）13:00～16:00

会場：茨城県総合福祉会館4階 大研修室

対象者：福祉従事者、その他希望者

定員：100名

受講料：5,000円

【問い合わせ先】

茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部

TEL 029-244-3755

平成25年度

福祉サービス苦情解決研修会の開催について

茨城県運営適正化委員会では、事業所の福祉サービス苦情解決責任者等を対象に利用者等からの苦情に適切に対応するため、講師の方をお招きし苦情の現状や解決方法についての研修会を開催しています。今年度は、下記の日程で開催予定です。

日時：平成26年3月7日（金）

会場：ひたちなか市文化会館大ホール

2月10日頃に、茨城県社会福祉協議会のホームページ（<http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>）で講演内容と参加申し込み方法を掲載いたしますのでご確認ください。

茨城県広報紙「ひばり」を映像と音声でお届けしています

茨城県広報紙「ひばり」（毎月1日発行）を県のインターネットテレビ「いばキラTV」で配信しています。紙面の画像を見ながら、内容を音声で知ることができます。

いばキラTVでの「ひばり」の視聴方法

パソコンやスマートフォンなどインターネットにつながる端末からご覧になることができます。

- インターネットで「いばキラ」と検索
- いばキラTVのトップページから「オンデマンド番組」を選ぶ。

オンデマンド番組



- チャンネルから「茨城県広報紙 ひばり」を選ぶ。



【問い合わせ先】

茨城県広報広聴課 TEL 029-301-2128

茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業「施設職員等研修ガイド」

（平成26年1月～3月開催予定分）

1月

17日	公開講座（アンガーマネジメントセミナー）
29日	保育士特別研修

2月

6～7日	業務改善手法入門研修
13～14日	リスクマネジメント研修Bコース
18日	保育所保育士研修
19～20日	ファシリテーション研修
25日	社会福祉法人管理代表者研修・介護職員研修

3月

7日	社会福祉施設等看護師研修
中旬	社会福祉施設等給食担当者研修
12日	社会福祉施設等指導職員研修
13～14日	OJT研修

※日程につきましては、あくまで予定です。講師との調整などにより、開催日が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

※なお、県社協ホームページ「研修・会議のご案内」からも研修案内が閲覧できます。

<http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>

【問い合わせ先】

茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部

TEL 029-244-3755

★社協職員リレートーク

パワーリフティングに出会って

阿見町社会福祉協議会 酒井 二三彦

子どもの時から仮面ライダーに憧れ、「いつか自分も変身し、強い男になりたい。」と願っていたものだった。高校2年の時、部活動がある理由で辞め、時間の空いていた私は同級生の友人の誘いでパワーリフティングというスポーツに出会った。まさか、自分自身がバーベルを持つとは・・・。

ここで、パワーリフティングとは一体どんなスポーツなのか。ウエイトリフティングがバーベルを頭上に差し上げる種目で重量を競うのに対して、パワーリフティングは、ウエイトリフティングの種目の中で、基本的で高重量を扱える種目であるスクワット（立つ）、ベンチプレス（押す）、デッドリフト（引く）の3種目の最大挙上重量の総計を競うスポーツである。すなわち、人間の持つ基本的な力の競争である。

競技を始めた頃の私は、ベンチプレスで25kgを挙げるのが精一杯だったが、10年以上経ってからは三桁の数字まで挙げられるようになった。特に20代の頃は週4日専門ジムに通っていた。ある時はハードなトレーニングで車のハンドルが握れないほど、筋肉をいじめたこともあった。競技生活では全日本には出場するこ

とは出来なかったが関東大会まで行くことが出来た。これも当時の仲間とパワーリフティングの諸先輩、さらにはいつも温かく見守ってくれた家族の協力なしでは出来なかったことだろう。本当に感謝している。

また、私は亡き恩師の後を引き継ぎ、茨城県パワーリフティング協会の役員として日々パワーリフティング競技普及および選手育成のため、努めている。当協会もお陰様で昨年公益財団法人茨城県体育協会に正式加盟し、平成31年開催される茨城県国体では公開競技として参加することとなった。競技としても近年、健康への関心の高まりから生涯スポーツとして注目されている。この競技に出会ってから30年、愛すればこそ国体の成功を祈るばかりである。

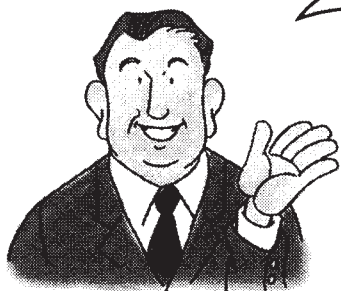


パワーリフティング競技の最初の種目、スクワット

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円(限度額)を補償



特徴は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

年間	基本タイプ	Aプラン	300円	Bプラン	450円
保険料	天災タイプ	Aプラン	460円	Bプラン	690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
受付時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます)
〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社

全国180万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!



木工・補修・補強ボランティアグループ「木楽工房」

「木工」を「気楽」に楽しむために——。今回は、そんな願いを込め名付けられたつくばみらい市の木工・



きらく山公園内に製作した丸太ベンチ前にメンバーが勢揃い！

補修・補強ボランティアグループ「木楽工房」へお邪魔してきました。第2第4月曜の月2回活動されているという現場に伺ってまず驚かされたのは、その明るく和気あいあいとした楽しげなムード。18人のメンバー中、2人の女性が華を添えると言ったメンバー構成もさることながら「作業は楽しんで行うもの」という



女性メンバーも作業に従事

明確な目的が、冗談や明るい掛け声を飛び交わせ、作業現場を陽気な空気に変えている、そんな和やかな雰囲気包まれていました。

平成22年10月より発足したという活動は当初、木工教室という相互親睦を深める位置づけでしかなかったそ



個人宅に車椅子移動用木製スロープ工事



古タイヤを用いたタイヤベンチ

うです。その後、活動拠点となっていたつくばみらい市のきらくやまふれあいの丘の数少ない木製ベンチの腐食が進み、満足に利用出来ない有様に一念発起。その修繕活動からスタートし、今ではきらくやまふれあいの丘に存在する木製ベンチのほとんどが木楽工房による修理や制作したもので占め

ています。そんな仕事ぶりが周囲に理解されるようになり、今では個人宅に車椅子移動用木製スロープ設置など、ボランティアでの75歳以上の独居老人宅や介護認定者宅の住宅の不具合箇所の補修や補強活動も活発化していくようになったのだそうです。

「人の為に何かをしたい。実はそんなことを考えてもいませんでした（笑）。仕事をリタイアした後、興味のある木工を気軽に始めたい。最初はそんな思い付きで始めただけなんです」と語るのは会長の田中芳雄さん。「定年になるとどうしても家にこもりがち。積極的に外に出て、好きなことを共に行う仲間意識や連帯感に生きがいを感じますね。しかも好きで始めた木工作業が多くの方に喜んでもらえる。こんな幸せなことないですよね」と屈託なく笑って話すのは公務員だった副会長の長塚さんとメーカー勤務だった庶務担当の中谷さんのお二人。そ



左から長塚副会長、田中会長、中谷庶務担当

のような経緯を辿り、木工好きの親睦団体だった木楽工房は、現在では地域に欠かすことの出来ないボランティアサーク

ルとして確固たる存在となっているようです。今後の展開について田中会長は「幸いにも良い仲間

に巡り合い機会にも恵まれ、こうして活動も軌道に乗りつつあるのですが、やはり身の丈に合った活動が大事。今後の人生を見据え、常に自己啓発ということを忘れない



作品に焼印が刻印されます

ようにしたい」と語ってくれました。

気楽に楽しむ心意気を大切に、木楽工房はこれからも、活動が続けられて行くことでしょう。

